

IMF の歳入・歳出

IMF、金の限定的売却へ



By Glenn Gottselig

IMF サーベイ・オンライン

2009年9月18日

IMF の金売却は、金市場の混乱回避のため透明な形で行われる。(写真: Oleg Lastochkin/Foto S.A.)

- 金市場の混乱回避のため、保障措置を伴う売却を実施
- IMF の新規歳入モデルの中核
- 金売却により、IMF の低所得国支援の能力が拡大

国際通貨基金 (IMF) 理事会は、IMF の保有する金の限定的売却を承認すると共に、このたびの金売却により世界の金市場に混乱をきたすことがないよう、様々な対策を講じることを強調した。

理事会は IMF の総保有金量の約 8 分の 1 に相当する、最大 403.3 トンの売却を承認したが、その売却益は IMF の新規歳入モデルの財源の一部となる。新規歳入モデルとは、加盟国の経済・財政政策に対するサーベイランス（政策監視）やその他の非融資業務など、186 カ国が加盟する IMF の経費について、貸付による収益への依存を減らすことを図ったものである。また売却益の一部は、低所得国向け譲許的融資の資金として活用され、その融資の拡大に貢献する。

このたびの承認を受けドミニク・ストロスカーン IMF 専務理事は「長期的に健全な財政基盤を確立すると共に、強く求められている最貧国向け譲許的融資の拡大のための金の一部売却に対し、理事会より圧倒的支持を得られたことを歓迎する」と述べた。「これにより金の売却が実現するが、売却は、金市場の混乱を回避するため責任ある透明な形で行われることになる」

市場の混乱防止のための考慮

米国、ドイツに次ぐ最大の公的な金保有者である IMF は、この度の売却が金市場に与え得る影響について、細心の注意を払う必要があると認識している。金の予期せぬ大量売却は金市場に混乱をきたしかねない。

このことから IMF は、市場の混乱を防ぐために多数の予防措置を講じている。第一に、金の売却量を明確に 403.3 トンに制限している。金市場もこの数字に関しては、IMF 理事会による 2008 年 4 月の新規歳入モデルの承認以来認識している。

金の売却において透明性は重要な意味を持つ。金市場で売却を行うにあたっては、IMF は予め各市場に通知を行う。また、金購入に関心を示す中央銀行及びその他の公的な金保有資格者があるならば、市場での金の売却が行われる以前に、直接売却が行われる。この場合、金の売却は市場価格で行われ、公的部門への売却により、

公的な金保有資格者による総保有金量は変わらないが、その内訳が変化することになる。

IMF によるこれまでの金の取引例

IMF は、過去数回に渡り保有する金の一部売却を行ってきた。

1978 年の IMF 協定の改正により IMF は、現行の市場価格に基づく金の売却あるいは、加盟国が債務の履行のため金で支払う場合は、その時点での市場価格に基づく双方が合意した価格で金を受け取ることが認められている。金の取引を行うには、総議決権の 85% という大多数の賛成が必要となっている。

主な金の取引例:

- **通貨補充のため (1957-70).** IMF は保有する通貨を補充するため金を売却。
- **南アフリカの金 (1970-71).** IMF は南アフリカから購入した金とほぼ同量の金を加盟国に売却。
- **米国債への投資 (1956-72).** 業務上の赤字相殺のための収益を得るとして、IMF は米国に金の一部を売却・その収益を米国債に投資。その後 IMF の準備資産が相当積みあがったため、IMF は米国政府から金を買い戻す。
- **競売及び「返還のための売却」 (1976-80).** 国際通貨システム上の金の役割を縮小させるという加盟国間の合意を受け、IMF は当時保有していた金の約 3 分の 1 (5,000 万オンス) を売却。このうちの半分は当時の公定価格である 1 オンス・35SDR で加盟国に返還という形で売却。残る半分は、IMF の低所得国向け譲許的融資の財源となる信託資金の資金調達のため、市場で競売にかけ売却。
- **金の市場外取引 (1999-2000).** 1999 年 12 月、理事会は貧困国を対象とした債務救済のための資金を取得するため、1,400 万オンスを上限として保有する金の市場外の取引を承認。

市場での金の売却は、中央銀行金協定 (CBGA) に参加している各中央銀行が、成功裏に活用しているものと同様のアプローチを適応し、段階的に行われる。

8 月に更新された同協定は、2009 年 9 月 27 日以降 5 年間の金の売却に関し、年合計 400 トン、5 年間で計 2,000 トンに制限している。また IMF による売却量はこの制限内に収めることを記している。

以上のことから、IMF による市場での金の売却により、公的機関が既に公表した総売却量が増加することはない。

また金売却が責任ある形で行われていることを市場に請け合うため、外部による金売却に関する定期報告も実施される。

金売却：新規歳入モデルの生命線

新規歳入モデルは、アンドリュー・クロケット氏を委員長とした、長期的に持続可能な IMF の財政の実現に関する賢人委員会による、2007 年 1 月の [提言](#) に基づいている。同委員会はその報告書の中で、現行の歳入モ

ドルの弱点を是正する多数の方策を示している。

この新規歳入モデルとは、IMFの多岐に渡る機能に相応すべくその収入源を多様化することを意図したものである。この歳入モデルの中核となるものが、金の売却益を活用した基本財産の形成である。この基本財産はその後、その公共性に見合った形で投資され、IMFの一般管理費を賄う収益を生み出すと期待される。

低所得国の利益に

今年初旬に、IMFは現下の世界危機による強い打撃を受けた、アフリカ諸国を主とする低所得国への融資に向け、2014年までに170億ドルを動員することに同意した。

IMFの拡大された譲許的融資の金利に係るコストをカバーするために、15億SDR相当の新たな補助的資金を確保するとして、上記の金売却にまつわる財源を含むIMFの一連の融資政策が承認されている。

本稿へのご意見は imfsurvey@imf.org まで。

本稿は、IMF Survey magazine: www.imf.org/imfsurvey の記事を翻訳したものである。